



学校だより

夏休み号

令和 5 年 7 月 20 日
足立区立舎人第一小学校
校長 澁谷 あゆみ

とうもろこしの記憶

校長 澁谷 あゆみ

さあ、今日から夏休みが始まります。「明日から夏休み」という、まさに今日この日が 1 年中で一番幸せな日ではないでしょうか。

新しい学年になってからの 4 カ月間、子どもたちも先生たちも、やがて来る「夏休み」というご褒美があるからこそ、毎日の学校生活を頑張って乗り越えてこられたのだと思います。

さて、「夏休み」という言葉から私が思い出すのは、真黄色に熟れたとうもろこしです。私は子どもの頃、夏休みになると父の実家である長野市の篠ノ井に家族で一週間ほど帰省していました。祖母は、私たちがいる間毎日、朝早くみんながまだ寝ているうちから畑へとうもろこしを取りに行き、朝ご飯の前にととうもろこしをお皿に山盛り蒸してくれました。大勢で競うように食べたとうもろこしの美味しかった記憶と共に私の夏休みがあります。

舎人第一小学校では今年、1 年生は「そらまめ」、2 年生は「とうもろこし」、3 年生は「グリーンピース」のさやむきを経験しました。栄養士がその都度、それぞれにまつわるクイズを作り、子どもたちに関心をもたせてから、さやをむくという体験をしました。自分たちが待っているテーブルに、先生が野菜を置く瞬間の子どもたちのワクワク感といったらありません。「いいよ!」の合図とともに、みんなの手がさっと野菜に伸び、無心になってむき始めます。そして、中身が見え始めた瞬間「わあっ。見えた!!」と喜びの声を上げます。

1 年生のお母さんから、こんな話をお聞きしました。「これまでは、野菜を絶対に食べなかったのに『お母さん、給食でサラダ食べられるようになったから、家でもサラダ食べたい!』って言ってきたのでびっくりしました」と。子どもって、嫌いだと思っていた野菜も、自分が野菜の皮をむくだけで、まわりのみんながおいしそうに食べているのを見るだけで、おいしく食べられるようになります。

そこで一つ提案です。夏休み、いつもとはちょっと違うお昼ご飯はどうでしょうか。冷やしたキュウリ一本丸かじり、トマト一個丸かじり、桃を一個丸かじり。切らずに丸ごと一個食べてみる。子ども自身が、その食材をどう食べるか決める。子どもがシェフになってお昼ご飯を用意するなんてどうでしょうか。買ってきた物でも、もちろん OK!そこにどんな工夫を加えるか。任せてみると、意外な創作料理が出てくるかもしれません。夏休みに子どもがつくった食事をタブレットで撮っておいて学校が始まったら見せてください。子どもたち自身が準備した食事を、「おいしいね!」の笑顔とともに夏休みの記憶に残りますように。それでは、皆さま、良い夏休みをお過ごしください。

ご報告!!



3年3組 柏木 柊璃教諭が入籍いたしましたので、ご報告させていただきます。姓は変わらず、柏木で続けますので、よろしく願いいたします。

